

げんなみ 正保

# 地域の声を市当局へ届ける

## 《ヒートアイランド対策》すず風舗装を求める要望書



都市においては、道路舗装やコンクリート建築物の蓄熱、冷房機の排気熱等により気温が高くなるヒートアイランド現象が発生しています。「地球温暖化防止への取り組み」の一つとして、ヒートアイランド現象の対策についても積極的に進める必要があります。

横浜市では、このヒートアイランド現象の抑制策として保水した水分の気化熱で舗装表面の温度を低下させる保水性舗装等「すず風舗装整備事業」を実施しています。泉区においても環境対策として、積極的に推進すべきと相鉄いずみ野線を利用する泉区住民が

署名活動を推進。1月26日、市会議員げんなみ正保とともに、市庁舎を訪ね、工藤文昭道路局長に対し「すず風舗装を求める要望書」を1万1千950名分の署名簿を添えて提出しました。

席上、同局長は、住民らに対し、「検討させていただきます。」と述べました。署名にご協力をいただきました皆様により感謝申し上げます。

### 要望事項

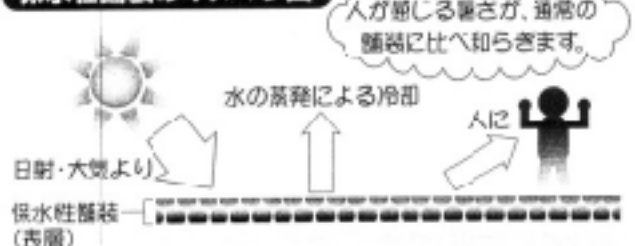
- ① 緑園都市駅周辺(商店街や学校周辺等)やいずみ中央駅周辺(区役所や遊水地周辺)地域の環境対策として「すず風舗装」を実施されたい。
- ② 環境創造都市横浜としてこの事業を環境教育などにも活用されたい。

### ▶ すず風舗装の効果を実証 ◀

ヒートアイランド現象抑制を図るため、道路局では平成15年度より路面温度上昇の抑制を目指し「すず風舗装整備事業」を進めています。18年8月から9月にかけて測定した路面温度の温度低減量を報告します。

- ▶ 降雨翌日の測定で8~14℃の路面温度低減量となりました。
- ▶ 工事を行ったバイパス通りでは、過去5年間の測定結果より、温度低減効果が持続していることが確認できました。

### 保水性舗装のイメージ図



\* 保水性舗装とは、舗装内に表層部に蓄えた水分が蒸発するときの気化熱より道路舗装内部の温度の上昇を抑制する舗装です。